

契情月粒志三編

佳人不相

識一坐

為金錢

莫謾

愁吞酒

閨中自

在傳

東里山人圖

英卉泉弄画



肝粒志三編叙

孟子獻子ぐいとく頌や童ろうを賞う

のハ契けい情じやうとをおあず釋しやく散さんの

家いかふ倡ちやう妓きとを賞うず一あ忠く性せうの

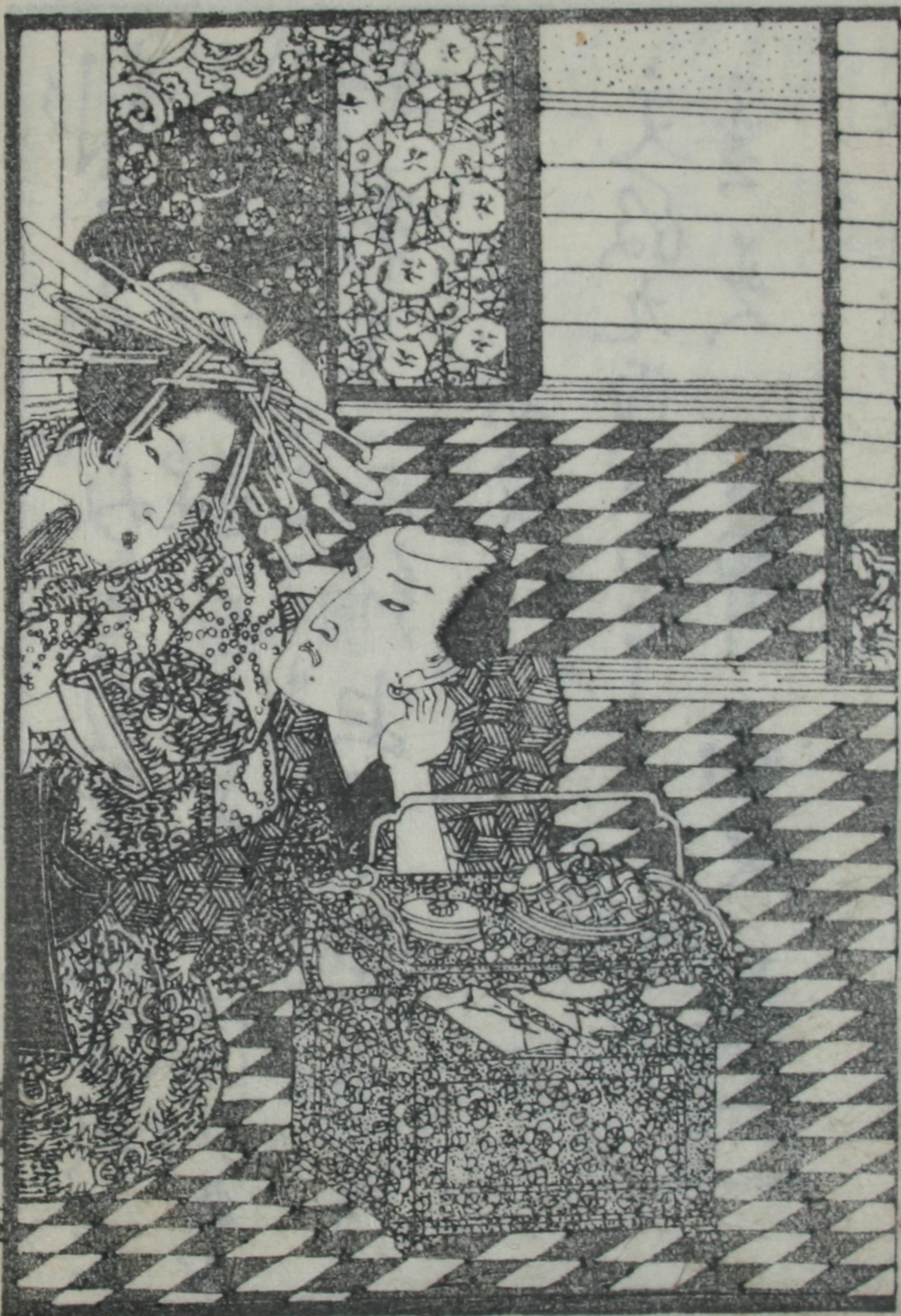
家いかふ執ちやく練れんの多ひん人じんとをあずけの

執ちやく練れんの多ひん人じんあらんようハ忘わう平へい

通つう人じんあう此こと廓さくふふをあずけて

利りいせぶぶみみををめめりりききぬぬととりりと
いいふふふふ思おもふふ一い山さん幸さいふふききふふをを
行ぎょう枝え志しふふ二に編へんおおつつとと烟えん草そう子し
ままるるるるままるるるる

文政九丙戌のとき
鼻山人誌



並齊泉弄画

肝粒志三編目録

上ノ卷

本来空也
契機の心

中ノ卷

教外別傳
如管の地

下卷

向上一路
眞実の心

以上

笑情肝粒志三編上

江戸

鼻山人著

○倡妓の心急き

紀伏のううう怒ううう物どふあらまきうめ

あられハ秋あ我う後れと人どふいふやまどそれ

さう物まで今一ときふんめうき立ちのハ夾のき色

ああ我うあやまはた是舞那のあまあとも殊の介あ

あやまきそこのどかりある仲の町お虎のお子いこ

持ちづる^{もち}比^ひより^{より}中^{ちゆう}へ^へ変^へへ^へ海^{かい}へ^へ遠^{とほ}く^く蓬^{ほう}菜^{さい}の^のめ^めと^とあ^あい^い
を^を殿^{でん}より^{より}そ^そ花^{はな}も^も中^{ちゆう}へ^へく^く年^{とし}色^{いろ}立^たち^ちど^どこ^こと^とあ^あれ^れ
を^をし^しも^もお^お客^{きやく}ら^らち^ちほ^ほぐ^ぐき^きそ^そふ^ふあ^あい^いじ^じく^く酒^{しう}も^も春^{はる}
を^をぬ^ぬ教^{きやく}さ^さへ^へあ^あう^うゆ^ゆま^まで^でよ^よろ^ろづ^づの^のお^おた^たぬ^ぬ
ん^んを^をの^のそ^そど^どあ^あや^やあ^あず^ず、^ま後^ご立^たち^ちを^をり^りな^なら^らあ^あ我^{われ}ら^らよ^よめ^めま^ま
あ^あ我^{われ}酒^{しう}の^の匂^{にお}ひ^ひあ^あぞ^ぞい^いや^やく^く人^{ひと}の^のト^ト戸^こあ^あも^もな^なら^らう^う
あ^あう^うあ^あの^のひ^ひあ^あら^らう^う山^{さん}吹^ふ色^{いろ}の^のや^やん^んお^おき^き中^{ちゆう}へ^への^の
あ^あづ^づう^うあ^あた^たさ^さぬ^ぬく^くう^うま^まづ^づと^とあ^あの^のへ^へす^すと^とぐ^ぐい^いに^に

るまゝに清紙の紙損料の万ふ合に告致の
茂り紙程お我々妻のあり町の人の参りたる場
まゝと通の紙をせられお我々ふさるゝものあれ
み月あえふくは是様紙拂ひをふふするは
仕事れの紙を放るゝあどふとらぬふ月
紙あふ紙あふらの紙の吉あふふくは
をんの紙をふ紙をふ火ふふふのあふれあり
六月をらふようは是れ代の紙をふふなる

[illegible]

ままのまゝにせよとて細心の
 まれに思ふの程に金も入らぬ
 使ひ出すものもあつた
 志づいて其のうちに
 名おきのさぬとて
 まで押しのけて
 仕事が出来ない
 ひまのうちに

又約集やくしゅうの乃の遠とほふころ銀金ぎんぎんあはゆるうあらん

とぐく菊きく會かいあうまぎづきふてすうふちるあ

あくあうぬるあ我われふひの名な残のこるもん細こるれ郎らうて

明あきりさのききき兒こはつふうてりうらら兒

あちどするさうんを移うつふ若わかのふとちうふとじ

男おとこの白しろき袴はかま衣えあてふもはもてあひあはれ

結むす況けいふそん昌まさ松まつ田でん舩ふねの四よ方ほう人ひと入い帳ちやうららくあ

ま保たも集しゅうの乃のとて指さし名なの列れつ並なみふり中ちゆう

いさくとい人の風評のさうぐい星ね文お決せ

さじが全被のう人出勤のようそあひつたい

はる修のさうあつと却つてるの知うぐあふ

いひのさじ人も今人知らひて面目あげて

くも偏ふま二人お花が働きあつてよくさん

目をとまぬぎぬる基本ひとあつふくうされバ

四千人の子幸万者のうあひといききいねんま

でも備信くくくくの廓のうき勉め何

年今めいとまぬあらん押のひぬあるふゆと
 がえり世の中のあるるや那田なる人があんな
 下通うあづる女子の智あたと舌をわきて忍
 ろのそあづる力ノ掃竿をたき拂ふふた音易
 からざる恵服をゆの替るるふんの中ものうとあ
 しくぬく我おとまの鉄しきおろが女ぞうふ
 まづきあどふ勿所あらばあう便る大後中

ある事^き變入^{りよう}のものを裏店^{うらみせ}住居^{ぢゆうぐ}の内^{うち}に盡^{つく}
しめゆ^{ささげ}る墓庫^{ぼこ}ふ替^{かへ}つものいづれも迷^{まよ}ひに入^い
ふや智^ちあるあつまずぬあらんと約^{やく}束^{そく}せしむと
の外^{ほか}の心^{こころ}のまじひあり鬼^{おに}ても角^{かく}てもす人の
末^{すえ}まで次第^{しだい}に入^いるまじき道理^{だうり}にあつと押^{おし}つな
涸子^{こし}の強令^{かうけい}ふ明徳^{めいとく}の光^{ひかり}り魂^{たましい}非^{あら}ん
是^{これ}をうする信^{しん}ふ通^{つう}の世^よのひをひたつて西^{さい}方^{ほう}人^{ひと}
ハ傳^{でん}る能^{あた}き抱^{いだ}懐^{わい}といふ者^{もの}おもあはび日^ひ毎^{ごと}に必^{かならず}

の使つさへ達へあつては借る者
儼然とまじりの行状おそれ初るる
うさへさへあつては男の
たるあつては官後悔の細枝を結る
清きあつては今のや電のちのちを
みゆきあつてはあつてはあつては
今念茲在之のちのちを
ふ人情の仕あつてはあつては

は田舎人そ女ぢいやなれど寤めて又うらあひ
をうぶその末のまぢいものを惜めておのひ
まじり生雛の大当りやて実にお客通
子の亀鑑とものづゝまるおのへ其の
ちぐち離縁せし女ぢいあまのまゝす
して丸の内辺のおるあふもろく市なり
ゆめをばさうとく夢すぬらひつ附合し昔の
罪をとおまつたてよきものであらんぞ

さうん^ザ悔^てき^てあ^ひふ^不健^ぬと^うれ^のる^りあ^れば^息
え^て又^もあ^つじ^くあ^りあ^びま^の縁^を結^む
び^てい^と睦^ま〜[〜]我^が〜[〜]縁^のあ^の
あ^ぢあ^のの^飽ま^でも^あひ^不快^惚ぬ^てう^は
づ^もあ^ぢあ^のさ^えお[〜]ま^さる^程あ^の中^も
終^ふと^あれ[〜]と^あつ[〜]お[〜]り^もう^すあ^の
難^のあ^おは^まも^あ〜[〜]あ^のあ^のと^あ四^方人^の
な^あふ^独〜[〜]あ^のん^がり^ト琴^のあ^る〜[〜]あ^のね

ケロリとカと火鉢いむちの字ドも虫むしさして花はなを

のうをばくぐトおのひせぶあぢあやハ

金きんめいさんざんの難がらと破くれアきるまふりまて

苦くろ方ろくらんもああの泡あ今さ又え人にあもあえられぬ

面めん目め次じあもああのたたの係けるふ人に情じやうの男

ともの速はやひーんんのあまううちうちさうさのの

にやーさ突けい情せいのこふふたぬたされれてああををるるう

客きやく人じんあぢあれ客きやく人じんのこふふたたままされれてああをを

おまもち―契情ハ此廓関ヶ初―より
吾母独りふれぐ―これこそ懐惚へ男の
みよ多々の宴を御らじらあもあらぬ嘆
候を実方―中ふいひらめて今も猶を食身
又大恩あ―主人あまで恩を祝して被
―最今国あふめづう来と候る心をば
あ―うト先相を認きて後悔の涙ふむぬめ
迫じぐ―ちまひても出るさあれの世の中こそく

るのせられふ付ててもアノ頼母よめもたふらん東とう
ちの親おやをあらうり相憐あはれといふでもなく
通とうおの縁えんおよう危あやひおの災さい難なんも心こころ
あく逃のがれしうふお情なさけほきを斗とひあま
おれホシノ男おとこのき心をあら通とう者との
世よの不明あやふき大人通ととめらあふぐーとらの
うちふ鷹たかをたふていふく今いまめづらあふけ
あれを怒いらまうふ又また阪東はんとうを布ふぐあふ

をんふ^と次^ととらふ老あり足ふおとらぬき^きに
の^のあて弱^よきを助け強^つきを挫^ひぐその主^さは
面^{おもて}不^ふ中^{ちゆう}和^わの志^{あきら}弱^{じやく}を合^あむと人^{ひと}どもあつるふ
樹^{しゆ}大^{だい}吟^{ぎん}の勇^{ゆう}を碎^{さい}く^くと^とう^う非^ひ美^び非^ひ送^{どう}の
行^{かう}秋^{きう}あ^あく能^{よく}人^{ひと}を^をう^うま^まう^うと^とう^うせ^せ能^{よく}人^{ひと}を^を懐^まく
る^る猶^{なほ}ふま^まこ^こた^たび^びの強^きを^を化^くさ^さる^るふ^ふち^ちう^うく
遠^あれ^れ糸^{いと}勤^{きん}が^がさ^さの^の妻^{さい}あ^あも^もあ^あづ^づ一^{いつ}方^{ほう}の
大^{だい}将^{しやう}を^をの^のふ^ふと^とく^く一^{いつ}國^{こく}一^{いつ}城^{じやう}の^の金^{きん}と^とも^もち^ちの^のま^ま

るきいのとちるも^{しきび} 賞入るてらるく
末^{すゝめ} 報^{はら} 母^{はは} しくぞ^う 押^お のひる^{きさ} 係^け る^さ ま^ま 北^{きた} 老^{ろう} あれ
バ^{よめひと} 四^よ 方^{ほう} 人^{ひと} ぐら^ら び^び 廊^{らう} へ^へ 出^で 勤^{きん} せ^せ ー^ー 下^げ ー^ー 残^{ざん}
園^{えん} 境^{けい} お^お 母^{はは} のと^と 只^{ただ} 管^{かん} 々^々 の^の 毒^{どく} 母^{はは} お^お 母^{はは} のひ^ひ ー^ー
や^や ー^ー お^お のひ^ひ 結^つ ー^ー 母^{はは} の^の 果^{くわ} 報^{はう} は^は ー^ー ー^ー
定^{さだ} ー^ー ー^ー 母^{はは} の^の あ^あ ー^ー 家^け を^を 尋^{たず} ぬ^ぬ 出^で され^{され} 終^{つい} ー^ー 又^{また}
泥^{どろ} 梨^り 果^{くわ} の^の 庭^{てい} お^お 沈^{しん} ー^ー ー^ー 裁^{さい} も^も ー^ー 下^げ なる^{なる} 知^ち る^る 人^{ひと} と
あ^あ ー^ー 母^{はは} の^の ふ^ふ 肖^{しょう} お^お 尋^{たず} ぬ^ぬ ー^ー ー^ー ー^ー 母^{はは} の^の 中^{ちゆう} ー^ー ー^ー

夢みる^{まみる}とすべ^{すべ}やめ^{やめ}のよう^{よう}あが^{あが}苦^く界^{がい}の^のあ^あ成^{なり}め
 揚^{あが}て^て地^ちの^のひ^ひの^の位^ゐふ^ふ豪^{ごう}懷^ゐを^をま^まま^ませ^せん^んと
 あ^あま^まふ^ふる^るる^る陰^{いん}埴^{えき}の^のあ^あま^まと^と見^みち^ちる^るあ^あめ
 将^{そう}斗^{とう}と^とあ^ある^る日^に物^{もの}が^があ^あの^の山^{さん}中^{ちゆう}を^をま^まま^まま^まぶ^ぶ
 道^{どう}中^{ちゆう}の^の定^{ぢやう}飛^ひ御^ごの^の針^{はり}ふ^ふる^るせ^せと^とく^く千^{せん}住^{じゆ}の^の
 歌^かま^まあ^あで^であ^ある^るる^るま^まあ^あ知^ちる^るあ^あれ^れバ^バ其^{その}れ^れの^の針^{はり}入^い
 ろ^ろう^うて^て衣^いを^をあ^あど^どあ^ある^る勢^{せい}に^にじ^じう^うら^らぬ^ぬ娑^さ女^{にょ}ト^トあ^あて
 ま^まる^るご^ごや^やの^の針^{はり}入^いら^らう^う四^よ方^{ほう}人^{にん}ふ^ふあ^あま^まと^と入^いん
 松^{しょう}田^{でん}金^{ぎん}の^の針^{はり}入^いら^らう^う四^よ方^{ほう}人^{にん}ふ^ふあ^あま^まと^と入^いん

まづ^{らう}着^いひ老^い侍^い八^く郎^つと^つ出^つる^つふ^よ田^め方^う人^とハ^とを^とん
ど^とあ^とひ^とが^と尋^とぬ^とま^とで^とま^とと^とい^とお^との^とひ^とを^とあ^とぢ^とれ^とバ
と^とれ^とひ^とと^とい^とう^とー
誰^と人^とあ^とる^とや^と不^と申^とぬ^とと^とう^とー^とど^との^と中^と股^とふ^とを^とあ^と
て^と等^とと^と申^とる^とふ^と疑^とふ^とべ^とう^とも^とあ^とぬ^とさ^とう^とが^とす^と
の^と吹^とる^とあ^とれ^とバ^と油^と面^とふ^と初^とめ^と色^とを^とあ^とび^とて^と子^とサ^とヤ
吹^とる^とさ^とん^とで^とあ^とぢ^とさん^とす^とう^と能^と尋^とぬ^とて^とま^とで^とト^とさん
した^とさ^とう^とさん^との^と侍^とう^とも^とあ^とた^とー^との^とお^とう^とく
と^とま^と
と^とう^とさ^とう^とさ^とう^とめ^とた^とハ^とト^とあ^とぢ^とさん^とす^とま^とあ^とく^とま^とい^と端^と

ちり
近あり一すトありとも二時^ふまでお久^{ひさ}しづりの
酒^{さけ}一ツ是^ぜはねく^ひと^{ちり}無理^{むり}いふ決^きるも又^{また}せ乃^の
所^{ところ}備^びでやうまをこゆるそのそ人^{ひと}ハ又免^とめ角^{かく}め
ト押^おりひの外^{あう}忘^わら^えれぬな強^{ちやう}合^がふ共^{とも}んあら
茶^{ちや}金^{ぎん}まで立^たぬてハイエ^えく茶^{ちや}金^{ぎん}元^{げん}もけ^{もち}
方^から^らころもろぐかりてまゐ^まい^いすコシ候^{こう}八^はとん
^ま客^{きやく}を^をな^なめ入^いるおは^はき^きき^きして来^きてくごせんと
いひすと二階^{にがい}く上^{うへ}り無^なく然^{しか}る糖^{とう}のひハ

あつたさうくえんふろの 侍いハも四方人よめひとづゝる暑さむ
へーサア入ッてやうませ 次 井人あら一すト二階ちよう
でも目ふきこつてそあつやせろト案内あんないはして
よめ四方人が毎々あふめる四方人ハ子ひて大をえに
きんぐあつじちるるぶあいのるであれがきんど思おもひたるわ
おどと万ろふん付ケたの畑はたけあめら生なまずの
ゆき持責もちしやくぶうまをきぬも又ふ内証うちしょうのちち幕知まくち
ころころあつたさうもその尾おふとり殺ころすらん

さうの^てみ^まめ^やと紙^ザお^ミ包^ツ山^マ吹^ミの^ミら^ミう^ミり
表^ミ不^ミ解^ミさ^ミぬ^ミど^ミと^ミ語^ミふ^ミ死^ミも^ミ実^ミの^ミあ^ミり^ミて
あ^ミる^ミふ^ミ実^ミさ^ミう^ミく^ミふ^ミく^ミう^ミら^ミお^ミう^ミら^ミお^ミ実^ミま^ミの^ミ
鈍^ミ子^ミさ^ミう^ミは^ミち^ミに^ミ共^ミさ^ミれ^ミの^ミち^ミ物^ミめ^ミそ^ミの^ミ位^ミふ
あ^ミう^ミく^ミお^ミの^ミ実^ミめ^ミあ^ミれ^ミぶ^ミお^ミせ^ミ死^ミま^ミで^ミ並^ミぶ^ミち^ミう^ミふ
次^ミも^ミか^ミひ^ミて^ミ郎^ミあ^ミら^ミん^ミと^ミ死^ミハ^ミト^ミ結^ミ束^ミ一^ミ束^ミさ^ミう
柿^ミ豆^ミが^ミ竹^ミ人^ミを^ミも^ミら^ミす^ミふ^ミお^ミの^ミ世^ミ其^ミま^ミ七^ミ右^ミ
来^ミて^ミ毎^ミ日^ミの^ミ左^ミ折^ミち^ミめ^ミう^ミち^ミう^ミふ^ミ死^ミ終^ミま^ミ

ザンヤルとあり
花を心替り間も程よく振まて酒宴の一母に
流石の清純さをとらへて夏八の人の面を
踊り振まて獅子の時元唄「お江戸を歩け」
南傳馬町いり新道お帰れあるきには息の
華白粉美艶仙女香るお次ありお名も
さるく七むぎ氏の製法と看板おとどく愛
おむきく まき ころ奇妙くすてく常上の
変色也元開き元耐も脂あのお光るおも切り

上^ま幕^きの子^こ秋^{あき}樂^{がく}とあつては^ま川^{がは}の^し時^{とき}は^つ風^{ふう}
波^{なみ}靜^{しず}りあ^るむ^な業^{わざ}盡^{じん}梅^{うめ}の^は色^{いろ}の^さ一^{いつ}向^{むか}ひ

次 ^{よもひと} ^{エモ} 田^の方^は人^をさ^んざ^うら^ふめ^んで^おざ^うら^ふす^まあ^や

ア^ア中^なふお^のひ^は結^{むす}む^ねぐ^さら^りと^るる^遠ッ^ッ

か^うら^ふる^のふ^ある^トら^のま^あて^る余^あま^いち^のひ^は

ぞ^うあ^らう^るれ^どう^ささ^び廓^{くわく}（^あも^うま^え）^とら^のひ^は

よ^うぬ^めの^ふは^し合^あせ^はる^のま^の毒^{どく}子^こ万^{まん}ト^はん^ま

境^{さかい}不^ふ傳^{でん}く^のて^はれ^りく^は安^{あん}あ^らう^るヤ^ハ一^{いつ}増^{ぞう}

おせ^ん後^ごもさ^しい^ひの^のゆ^へ他^た生^{せい}の^の縁^{えん}の^のス^す。あ^あら^らず
と^と中^{ちゆう}ま^まに^にあ^ある^るで^でめ^めも^も金^{かね}は^はく^くです^すむ
る^るあら^らざ^ざう^う共^{とも}こ^こあ^ある^る將^{しょう}斗^{とう}の^の仕^しサ^さめ^めな^なも
あら^らゆ^ゆ人^{ひと}等^{らう}ぬ^ぬて^てけ^ける^る廓^{くわく}の^のサ^さを^をあ^あり^りて^て来^き
との^のさ^さ一^{いつ}圓^{げん}や^やあ^あら^らづ^づひ^ひに^に成^{なり}く^くあ^あら^らは^はじ^じり^り
あ^あら^ら四^よ方^{ほう}人^{ひと}々^々一^{いつ}涙^{なみだ} 男ア^アノ^ノち^ちう^うさ^さん^んの^の男^{おとこ}ま^ま
^{さん}ぶ^ぶり^りま^まと
あ^あま^ま実^{じつ}成^{なり}の^のふ^ふら^らそ^その^のサ^さう^うふ^ふま^まア^ア押^{おし}の^のみ^みて^てあ^あらん
あ^あん^んす^す要^{よう}加^かふ^ふあ^あま^まる^るお^おき^き然^{ぜん}お^お情^{なさけ}さ^さう^うふ^ふお^おれ^{れの}

多あうト上ナク^いあれど倭つこゝろのあらほの
 多さ^{おまへ}れゆ々もぐちおもひ困ふ後ありイち
 次あれど行と死はなぬものうち長き事あるあんて居
 いこの市君さんある中ふ又め力なきを彼是下
 お情^{あきら}るさまおびしめあらあう難ひともの嬉し
 とのうわさいおがまんせんよくいほひ縁づ
 ト今更おのくおのり得百倍まさしくお
 アノ金八さんのころぎんすぬ始ちあのかうぬ

彼^ふ是^{これ}と^あ実^{じつ}ふ^りを^と結^{むす}と^お思^{おも}ふ^ふ一^いつ^つも^も田^で
村^{むら}の^の道^{みち}二^に丁^{てい}二^に丁^{てい}の^のあ^あら^らと^と廓^{くわく}の^の
者^{もの}お^お押^{おし}く^くられ^れ一^い度^どさ^さら^ら一^い日^{じつ}の^のあ^あら^らと^と廓^{くわく}の^の
悟^ごの^のあ^あれ^れが^が辞^し無^むら^らの^のあ^あら^らと^と廓^{くわく}の^の
寮^{りょう}ま^まで^で立^た海^{うみ}と^とれ^れら^らか^かじ^じて^てと^とお^おの^の
存^{ぞん}ふ^ふ一^い季^きま^まで^で備^びで^であ^あら^らと^と廓^{くわく}の^の出^で勃^{はく}是^ぜ
も^もま^ま一^いつ^つの^のあ^あら^らと^と廓^{くわく}の^のあ^あら^らと^と廓^{くわく}の^の
ふ^ふ甲^が斐^{はい}文^{ぶん}あ^あら^ら男^{おとこ}な^なら^らふ^ふえ^えう^うけ^け後^ごの^のあ^あら^らと^と廓^{くわく}の^の

つゝ 終はつちだぬさあまやなふなはな方なのな建なうな今なやなうなトなあなの
なはなとな人なあなめなつなふな社なされなぬなめなのなうな人なのな知なの上な
望なまなうな結なをなぬな縁なもなあなぬな中なふな候なつなとなあなのなひな〜
不な得なるながな却なてな今なふなめなのな仇なとなあなうなつなつなのなあならな
めな〜
人なの中なのなあな〜
木なうならなとな建な〜
山な様なのな
名な付なうな枝なめなあないな風な情なふな吹なうなめな案なふなあな様なとな
てなよなめなさな〜
人なでなめなあなるなトな人なの中なめなあなひな
なれなばな あハなテな金な八なさなんなまな〜
のなうな中なふなあならなるな

離縁を^{りえん}しつちうきんを又持^{もち}く糸^{いと}ぢ^ぢを^を

あふちあふす^らふ^らさ^らん^らず^らぐ^らふ^らひ^らめ^らち^らめ^らめ^ら

らん^{らん}縁^{えん}付^けう^うで^でお^おぢ^ぢい^いふ^ふす^すゆ^ゆらん^{らん}ち^ちや^やま^まう^うく

持^{もち}い^いせん^{せん}^{うま}
次持^{もち}れ^れが^が実^{じつ}方^{ほう}の^のる^るあ^あら^らぶ^ぶア^アン^ン金^{きん}八^{はち}

ト^トふ^ふ人^{ひと}も^もあ^あん^んま^まう^う人^{ひと}情^{じやう}を^をち^ちら^らぬ^ぬ男^{おとこ}の^の佛^{ぶつ}

陀^だッ^ッて^てな^なぬ^ぬふ^ふめ^め入^いま^まず^ず骨^{ほね}お^お扱^けの^のく^くさ^さび^びと^と

徳^{とく}け^けも^もて^てん^んぐ^ぐの^の好^{すき}あ^あら^らは^はか^かめ^めぬ^ぬぐ^ぐま^まあ^あや^や

お^おう^う泥^{どろ}田^でを^を持^{もち}で^であ^あん^んご^ごう^う分^{ぶん}ら^らぬ^ぬ蛇^{へび}を^をち^ちら^らぬ^ぬ

づ
らうとをまじり甲斐もぬい
ちぢうま
矢張鬼のさうたのでおぎやうすかじして二なる
のうた俛焉も今とありそふれまじりうち
軍の社のでおぎやうふせうおんな男あうう
けとあううらうなまうう国さうまううめ
せんのサ あう さう あう の お ひ ち う う ら ん じ
能あういあうぬ縁の人あううらあう
さううあういあう先さう あう え あう う の あ う

今までおのゝうの差をえこのづ生涯の種と

ふ人情をいつまでも契情のあつてサ

振あつて仍て喧嘩も出まらず毒電のちの経

方ちのさふ縁あきまじト帰るやう外とい

了なるもあざうすめ人々人程の世を経

トヤレイすうら又は合せの能くもあつて

せうあ人が然る心倡妓でも七轉び八転で

アアアアアアアアアアアアアアアアアア

アア

四

又 毒^{どく} 心^{こころ}で客人^{きやくにん}を立^た辨^{はん}をせ^せぶとんな孔明^{こうめい}持^も氏^し
 でも一^{いち}ぢぢん^{ぢぢん}はく^{はく}ハドツコイと^と強^{あぢ}の来^きるの^のハ知^して
 ある^{ある}地^ちぢぢん^{ぢぢん}非^ひ信^{しん}を^をて能^いお客^{きやく}の^のある^{ある}ぢぢん
 志^しあ^あさ^さる^るが^が 四方^{かた}お^おあ^あう^う疑^ぎ入^いお^おさ^さる^るす^すあ^あこ^こ二
 今^{いま}や^やし^しイ^イす^す級^{きゅう}あ^あれ^れバ^バと^とも^も今^{いま}さ^さん^んを^を的^{てき}あ^あや^や
 鈴^{しず}い^いせん^{せん}ト^トい^いて^て外^あお^お相^{さう}技^ぎ合^あひ^ひの^の客^{きやく}人^{にん}ハ
 あ^あー^ー今^{いま}よ^よや^やあ^あト^トい^いお^おは^はま^まら^らぬ^ぬ母^{はは}の^のさ^さん^んで^でお^おお^お
 ち^ちの^のす^すと^とれ^れが^がさ^さう^うだ^だ ^{ぎやう}り^りて^て外^あお^おさ^さる^るく^くま^まう^う

み^きや^の百^のあ^のい^のう^ので^のも^の懐^の中^のあ^のて^の看^のれ^のぐ^のま^のま^のま^のま^の

あ^のふ^のき^のひ^のあ^のせ^の入^の **四**あ^のま^のア^のそ^のの^の中^のふ^のま^のま^のま^のま^ので^のが

ち^のら^のふ^のあ^のつ^のと^のあ^のん^のあ^のん^のす^のあ^の情^のほ^のひ^のあ^のが^の

め^のー^のあ^のさ^のぐ^のー^のあ^のさ^のる^のあ^のず^のあ^のい^のが^の客^の人^の

ら^のあ^のど^のも^のあ^のく^のあ^のの^のま^のま^のー^のあ^のの^の切^のは^のく^のー^のあ^の入^のぐ^の

ま^のあ^のさ^のさ^のら^のふ^の縁^の付^のう^ので^のあ^のさ^のら^のさ^のう^の **四**あ^のハ^のテ^のあ^のや^の

配^の偶^ので^のあ^のの^のう^のね^のさ^のう^のの^の縁^のあ^のら^のあ^のさ^のう^のさ^のう^のさ^のう^のさ^のう^の

ト^のあ^のさ^のさ^のや^のあ^のさ^のう^のや^のせ^のん^の **四**あ^のお^のこ^のニ^のさ^のう^ので^のあ^のあ^の

アムす^ト抑^サのひをう^ウふ^フ會^カま^マせ^セて持^テ書^カえ^エが^ガり
おもひやりのま^マ実^ミ入^ニ契^ケ情^ジ生^シ契^ケう^ウち^チい^イく^クん^ン底^{ソコ}居^スす
ちがひもあらう

評^{ヒョウ}の元^{ゲン}や流^{リウ}く^ク容^{ヨウ}不^フ笑^{シャウ}を^ヲ引^{ヒキ}

ま^マい^イや
罵^{ノノシ}る^ル人^{ヒト}

契^ケ情^ジ行^{コウ}粒^{リツ}志^シ三^{さん}編^{へん}上^{じやう}終^{しゆう}

